

粟殿自主防災会（桜井市）

～ 粟殿自主防災会の活動概要について～

1 粟殿地区自主防災組織結成の経緯

桜井消防署の指導と粟殿区会の尽力により平成6年1月30日に結成式を挙行、粟殿区は消防団の機動部隊としての歴史があり、消防団員としてまた分団長として活躍いただいたOBの方々を中心に、婦人会もまじえ区長はじめ区の長老方も加わっていただき46名で、粟殿地区自主防災組織として桜井市で最初に発足。

2 組織体制

その後「粟殿自主防災会」と改め規約を作成、会長、副会長2名、会計1名、幹事4名、監査1名の役員を置く。

組織としては、総合班、情報班、消火班、救出救護班、避難誘導班、給食給水班と、6つの班を設け、それぞれ班長の元、全会員はいずれかの班に所属し活動する。

全会員に冬用ネ・ム入り制服&夏用制服を作成。

3 活動内容

情報班 = 情報の収集、伝達、広報活動

- * 本年度、広報誌「粟殿防災だより」第18号を発行。
- * 粟殿区内の消火器の配置を確認広報。
- * 区内の災害時避難場所の確認と広報。
- * 時々の自主防災会行事の報告や、予告等を掲載。

消火班 = 初期消火活動

- * 月1回可搬式小型ポンプの点検と放水訓練を各班持回りで実施
- * 区民を対象に防火啓発活動を年1回は実施
- * 平成8年区内シャルトル公園の一角に大型耐震防火水槽が完成記念行事に桜井消防団粟殿分団と共に参加。



- * 救命講習会を継続して開催、心肺蘇生法の修得を区民にも奨める。
- * 隔年に開催されていた桜井市防災訓練で担架搬送救出訓練に出場。
- * ジヤスコ桜井店で女性会員による心肺蘇生法の実習を行う。



避難誘導班 = 避難誘導活動

- * 情報班と協力し、災害時の避難場所の確認。
- * 区内の独居老人の確認等。

給食・給水班 = 水、食料等の配分、炊出し等の給食、給水活動

- * 出火時の炊出し（おにぎり等）を行った。
- * 毎年区の氏神神社秋祭りには、炊出し訓練の一環として、おでん（3品一盛）350食を調理している。
- * 真冬の戸外活動では、甘酒を作りふるまった。

4 奈良県代表として第14回・全国女性消防操法大会に出場

栗殿自主防災会の女性メンバー12名からなる、消防団女性部が結成され平成11年10月21日横浜訓練センターにおいて行われた可搬式小型ポンプの操法大会に奈良県代表として出場をはたしました。

炎夏の夏は、夜のグラウンドをライトアップ、消防署の方々の多大な力をいただき、一から手ほどきを受け、そう若くはない家庭の主婦たちが懸命に頑張っていました。

また、栗殿自主防災会会長をはじめ、メンバーの熱い応援を受け、前日からバスを仕立てて横浜まで駆け付けていただき、会の結束がいつそう強固になった感がいたします。

当日の競技は47都道府県中、第1番目の出場だったのですが、ミスなく終わることが出来、安堵した次第です。

- * 桜井市出初式の式典に参加。
- * 市内独居老人防火指導に署員と共に同行。
- * 火災予防週間の啓発行事参加。
- * 女性消防団全国活性化大会に参加。
- * 奈良県消防団幹部大会に参加。
- * 奈良県防災訓練行事に参加、等々。



5 粟殿自主防災会として

- * 年度始めに総会を開催する。
- * 粟殿区の行事に参加する（人権学習他）
- * 桜井市及び奈良県の総合防災訓練参加の要請に応じる。
- * 隔年に行われる桜井市防災講演会に参加。
- * 桜井市内自主防災会意見交換会に出席。
- * 平成 9 年「奈良市防災センター」へ視察研修。
- * 平成 13 年奈良県防災航空隊を訪問。
- * 平成 15 年阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」訪問
- * 平成 16 年 10 月 31 日 発足 10 周年記念行事を挙
行
10 周年記念式典の挙行、起震車地震体験、消火体験、
防災映画の上映、粟殿分団消防車試乗
阪神淡路大震災パネル展示、粟殿防災だより綴り
防災会用具、備品の展示。
日本赤十字社を通じ新潟地震災害に寄附金贈呈。

6 今後の課題

- * 12 年目を迎え、もっと若い世代の取り込みが課題である。
- * 地域的には集合住宅も多く、関心がやすい傾向にある。
- * 区からのバックアップが大きい分、もっと積極的に区会構成員である町内会長諸氏との連携を密にし、区民に還元できればと思う。
- * 責任ある組織と認識し、防災関連事項はもとより、子どもの見守り等地域の防犯にも気を配っていきたい。

粟殿自主防災会主催

10周年記念事業開催

協賛 桜井市消防署 粟殿区 粟殿婦人会

日	平成16年10月31日(日)
時	午後12時より4時まで (雨天決行)
場所	さくら幼稚園

起振車の試乗



水消火器体験



みんなでつくる

災害に強い町

防災映画
上映

震災パネル
展示

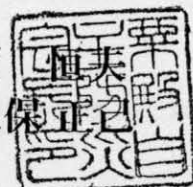
防災用具
展示

ご近所お誘い合わせ、多数ご参加お願いいたします

救命講習会の実施について

栗殿区民各位

会 長 松原
救出救護班長 山久保



緊急事態の初動の数分の処置により、人の生死が別れると実証されています。

桜井消防署では今回15年に続き(3年更新)いっせいに消防団員に救命講習が実施されます。

栗殿自主防災会では下記の要領で講習会を開催し指導を受けますが、大切な身近な人の為にも、是非心肺蘇生法の受講を皆様におすすめ致します。

救命講習会

- ◆ と き 平成18年 8月20日(日)
午前9時 ~ 12時迄(3時間)
- ◆ ところ 栗殿公民館(元町)
- ◆ 特典 受講者全員に終了証交付

希望者お名前(町名)

共催 栗殿区・消防団女性部

全館統一標語
消さないで
あなたの心の
注意の火。

栗殿防災だより

第18号 平成18年9月発行 栗殿自主防災会

平成十八年度自主防災会総会開催

会長あいさつ

栗殿自主防災会十八年度総会にはお忙しい中、会員の皆様はじめ、自主防災運営に御指導いただいております消防署からもご出席頂き、無事開催する事が出来ました。

今年度は、昨年完成いたしました栗殿西公民館にて、総会議事を開催。新年度に向け、会員共々新たな心意気で進みたいと決意致しております。

常々、事にあるごとに地域連携の大切さを言われる中で、今年度は、自主防災会を中心とした輪を大きく、太く、育てていきたいと思っております。

自主防災会の活動を、より多くの住民の方に向けていただき、組織の輪を広げ、安全な街づくりに役立ちたいと願っております。

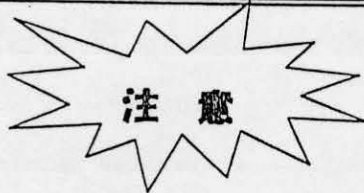
会長 松原 恒夫



「新築住宅に火災警報器の設置義務付」

設置義務付

平成十八年六月一日より新築住宅の場合「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられます。既存の住宅については、各市町村の火災予防条例で平成二十一年六月一日から設置が義務付けられます。



- ・ 悪質な訪問販売にはご注意ください。
- ・ 日本消防検定協会の「NSマーク」のついた商品を選びましょう。
- ・ 消防署からの訪問販売は一切ありません。

年間行事予定

毎月第1日曜日

可般式ポイント検

- 8月 県防災訓練参加
救命講習会開催
- 9月 防災便り発行
- 10月 栗殿秋祭り炊き出し訓練
- 12月 防災便り発行
- 11月 消火器取扱い訓練
- 1月 出初式見学

救命講習会開催

H18年8月20日栗殿公民館にて、救命講習会を開催。緊急事態発生時の初期対応が人の生死を左右すると言われております。参加者全員真剣に心肺蘇生法の講習を受講。参加者全員修了書を交付いただきました。

救出救護班



台風と大雨に備えて!

- ☆ 気象情報を知りましょう
- ☆ 環境整理をしましょう
- ☆ 非常持ち出し品の準備確認
- ☆ 危険な場所には近づかない
- ☆ 避難は皆で協力しましょう



非常持ち出し品

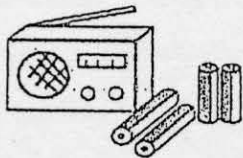
一次持ち出し品(例)

災害が発生して、避難するとき、最初に持ち出すものです。



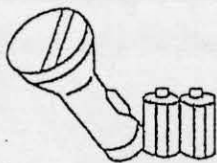
非常食

カンパン、缶詰など火を通さなくても食べられるもの。
ミネラルウォーター、粉ミルク、缶切り、栓抜き、水筒など



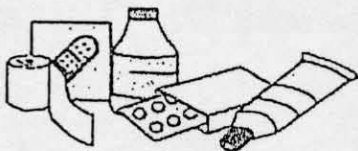
携帯用ラジオ

予備電池は多めに用意。



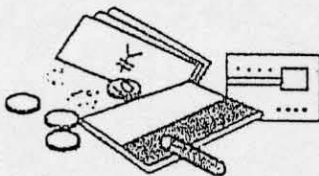
懐中電灯

予備電池も忘れずに。



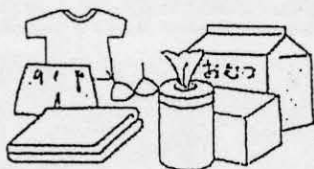
救急医薬品

ばんそうこう、キズ薬、包帯、カゼ薬、胃腸薬、鎮痛剤など。
病人、お年寄りの常備薬も忘れずに。



貴重品

現金(10円硬貨があると公衆電話の利用に便利)、預貯金通帳、印かん、免許証、健康保険証、権利証書など。



その他

下着、上着などの衣類、タオル、ちり紙、ウエットティッシュ、紙おむつ、生理用品、ライターなど。

栗殿区から

火災を出さないよう

気を付けましょう

栗殿自主防災会

可搬式ポンプ点検

(第一日曜日)

月	班	月	班
1	出初式見学	7	救出救護班
2	救出救護班	8	避難誘導班
3	避難誘導班	9	給水給食
4	給水給食班	10	役員欠席者
5	情報班	11	情報班
6	消火班	12	消火班